



2004年5月31日

各 位

東京都新宿区西新宿六丁目 10 番 1 号  
株式会社フォーサイド・ドット・コム  
代表取締役 安嶋 幸直  
(登録銘柄コード番号: 2330)  
問い合わせ先 取締役管理部部長 川崎雅嗣  
T E L 03 - 5339 - 5211 (代)

### 米国コンテンツプロバイダ最大手 Zingy, Inc.の買収に関する基本合意について

株式会社フォーサイド・ドット・コム(本社:東京都新宿区 代表取締役:安嶋 幸直)は、平成16年5月26日に開催した取締役会の決議により検討を進めていた米国コンテンツプロバイダ最大手の Zingy, Inc. (本社:NY CEO: Fabrice Grinda 以下、ジンギー)の完全子会社化することについて基本合意に達しましたのでお知らせいたします。

当社は、基本合意の内容に基づきジンギー社の発行済株式総数の全てを譲受け、同社を完全子会社とする予定です。

なお、正式な株式売買契約は各社の機関決定後締結されるものであり、買収日程等の詳細については決定次第速やかに開示を行って参ります。

以上

《本リリースに関するお問い合わせ》  
株式会社フォーサイド・ドット・コム  
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-10-1  
日土地西新宿ビル 7・8F  
TEL: 03-5339-5211 (代表)  
E-mail: [ir-info@for-side.info](mailto:ir-info@for-side.info)  
<http://www.for-side.com>

## <ご参考資料>

### 1．子会社化とする検討の理由

米国における『着メロ』『待受け』『ゲーム』といったモバイルコンテンツ市場は、2003年約96億円と日本の約2,200億円に比べ大きく開きがあった。しかし、2003年中盤から着メロや待受けの需要は急速に伸びてきており、2007年には2003年約256億円の1,540%増の約4,200億円市場に達するとされている。(IDC調べ)

今回子会社化を検討するジンギー社は、2003年米国モバイルコンテンツ市場のシェア15%を有するマーケットリーダーである。ジンギー社を子会社化することでフォーサイドの子会社For-side.com.U.S.A.Co.,Ltd.(本社:NY CEO:安嶋 幸直)を軸にフォーサイドグループが一丸となって急成長する米国モバイルコンテンツ市場の早期獲得を図り、2004年には市場シェアの25%、2007年には市場シェア40%以上の拡大を目指す。

### 2．フォーサイドとジンギー社のシナジー

ジンギー社は、2001年7月の設立以降コンテンツプロバイダとして、シンギュラーやAT&Tワイヤレス、スプリント、ネクステルといった米国の大手キャリア向けに、また大手ポータルサイトMSNやAOLなどに『着メロ』『待受け』『ゲーム』のコンテンツを提供している。

フォーサイドにおいても高収益率の『着メロ』『待受け』『着うた』に特化したコンテンツを国内全キャリア、海外主要キャリア、大手ポータルサイトに展開していることから両社が持つ豊富なコンテンツ資産とコンテンツ展開のノウハウが共有化され米国コンテンツプロバイダトップとしての確固たる不動の地位が確立できる。

### 3．今後の展開

フォーサイドとジンギー社は、急成長する米国モバイルコンテンツ市場に高収益率である『待受け』『着メロ』『着うた』コンテンツを積極的に展開し大幅な増収増益の獲得を狙う。

早期にIPO(Initial Public Offering)を行い、新規事業の立ち上げ、M&Aを実施し事業の拡大も図る。

今後は、米国における市場シェアトップの地位を足掛かりにヨーロッパ市場に向けての展開も加速しフォーサイドが目指す“世界へ向けての総合デジタル流通業”へ着実に前進する。

### 4．ジンギー社の概要

設立 : 2001年7月  
所在地 : ニューヨーク  
事業 : 着メロ、待受け、ゲームなどを配信するコンテンツプロバイダ  
取引先 : AT&Tワイヤレス、シンギュラー、ネクステル、スプリント、オールテル、ブーストモバイル、テルセル、T-mobile、AOL、Virgin Mobile、MSN、MTV  
売上 : 4億8千万円(2003年度実績)  
約20億円(2004年度予想)  
従業員 : 50名

ジンギー社は、急速に伸びてきている米国モバイルコンテンツ市場に若者を対象に『着メロ』『待受け』『ゲーム』といったニーズに合ったコンテンツを提供し急成長を遂げております。ジンギー社を取得することでの売上高の影響は、年間約 20 億円の増収が見込まれます。

今後、ジンギー社は MTV と提携して動画コンテンツへの展開なども図っており、2003 年の約 15%の市場シェアから 2004 年には約 21%、2005 年には約 25%の市場シェアの獲得を予定しております。